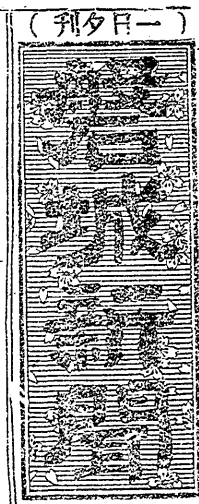
（一日夕刊）
林檎大賣出
定價一部二錢郵稅一ケ月六十錢十五錢
廣告料 登行六十錢 複雜廣告錢
福島縣平町田町十六番地
發行所 城新聞社
福島五六五番



上高地遊記

平町 絲江生

近代的名勝地

從來の名勝地は部分的のもの特殊的のもの靜的のものが多かつた、これを所謂日本三景に就て見るも松島は例の平淸盛が寄進したといふ海中の鳥居を通して見た社殿が代表してゐる天の橋立は傘松から見た特殊の半線の景がそれだけ何れも靜的に見た景である。松島は部面が稍廣く動的の要素を以てゐるがこれも要するに海島といふ限られた風景である、何れもこれが端的に言へば箱庭式といふ一言に盡きるであらう。

然るに近代的名勝地の概念は大分變化して來てゐる。全体的概括的でそして動的の要素を多分に持つてゐなければならない樣だ、米國の黃石公園は恐らくその代表的のもので或はこの影響を受けたのかも知れぬが交通機關の發達がその大なる原因だらう國立公園の選定等には大いにこの點を考慮すべきであると思ふ。

上高地はこの點から見て充も近代的名勝地としての各種條件が具備されてゐると思ふ。

最近踏破して得たる上高地の見聞を所感を記して見やう。

大正池と燒嶽

平を發つたのは八月卅日の午後三時翌朝七時松本驛で汽車を捨て筑摩電鐵で島々まで約四寸分それより自動車で梓川の溪谷に添ふて斷崖絕壁に膽を消し乍られたので目蓮尊者は大いに走る。三時過半中の湯溫泉につくころからは自動車はきかない徒步約一里半かくて上高地に踏み入る事出來るのである。

第一に目につくのは燒岳の噴火だ、噴火といふよりは山の中腹以上が燃えつゝあるといふ方が適當だ丁度、炭礦の貯炭が自然發火しての爲に燃した狀態だ、そくなつて壯觀ふと、莫加明して時々そのの大噴火の溶岩が流し灰を降らすためにその附近の山々の木といふ木は悉々枯死して恰も白骨の林の樣にしそゝりたつてゐる。

凄い噴煙とこの滿目荒寥たる白骨の林とは一種淒慘な感を與へて此の世の能とは思はれぬ光景である地獄にある劍の山といつた樣な感じだ。

燒岳が大正三年の大噴火の際にその溶岩が梓川を堰き止めて出來たのは有名な大正池である。燒岳の噴煙に氣を奪はれて空を眺めて歩いて行く時脚下に展開されるのがこの大正池である。池の表には當時の白樺の林が白骨の林となつて水に漬かつてゐるのだ、その白骨を縫つて燒岳の噴煙が水面にクッキリと描き出されてゐるのだ、何とも云ふ怪奇な狀景であらう、而かもその水中には（イワナ）が極めて無心に游泳してゐるのも又一種の興味を呼び起す。

白樺と化粧柳

大正池を左に見て進む此から道は全く平坦になる五千尺の高地そして今迄辿りつつ險路を考へるとき全く奇蹟の感じがある池を渉ぎれば一面白樺の處女林である。

平町田町
高久病院
電話五一三番

千蘭盆會に就て（六）

最勝院住職 阿都崇順氏講演

とそこで衆僧は何れも回向して、其の供養を受けは自動車で梓川の溪谷に添ふて斷崖絕壁に膽を消し乍られたので目蓮尊者は大いに走る。三時過半中の湯溫泉につくころからは自動車はきかない徒步約一里半かくて上高地に踏み入る事出來るのである。

第一に目につくのは燒岳の噴火だ、噴火といふよりは山の中腹以上が燃えつゝあるといふ方が適當だ丁度、炭礦の貯炭が自然發火しての爲に燃した狀態だ、そくなつて壯觀ふと、莫加明して時々そのの大噴火の溶岩が流し灰を降らすためにその附近の山々の木といふ木は悉々枯死して恰も白骨の林の樣にしそゝりたつてゐる。

凄い噴煙とこの滿目荒寥たる白骨の林とは一種淒慘な感を與へて此の世の能とは思はれぬ光景である地獄にある劍の山といつた樣な感じだ。

燒岳が大正三年の大噴火の際にその溶岩が梓川を堰き止めて出來たのは有名な大正池である。燒岳の噴煙に氣を奪はれて空を眺めて歩いて行く時脚下に展開されるのがこの大正池である。池の表には當時の白樺の林が白骨の林となつて水に漬かつてゐるのだ、その白骨を縫つて燒岳の噴煙が水面にクッキリと描き出されてゐるのだ、何とも云ふ怪奇な狀景であらう、而かもその水中には（イワナ）が極めて無心に游泳してゐるのも又一種の興味を呼び起す。

白樺と化粧柳

大正池を左に見て進む此から道は全く平坦になる五千尺の高地そして今迄辿りつつ險路を考へるとき全く奇蹟の感じがある池を渉ぎれば一面白樺の處女林である。

映畫欄
劍戟スター——
雲井龍之介
帝キネに正式入社
今後の活躍が見もの

先き頃帝キネ入社を傳へられてゐた劍戟スター雲井龍之介其の後の行動に就ては各方面から注目の的となつてゐたが、此の程河合映畫との交渉圓滿解決し、愈々帝キネに入社する事になつた、第一回作品は未だ未定であるが近く具体的に發表をする筈である、河津清三郎の入社を見て間もなく、又雲井龍之介の入社を見るは秋の映畫シーズンを控へての帝キネの活躍を裏書するものであらうと大いに刮目されてゐる、因に雲井は東亞キネマのビカ一と謳はれて賢拙され多くの名映畫を發表し昨年同社の紛糾に際し康成氏が朝日新聞に連載して河合に傾じたもので未だ春秋に富み新興帝キネでの活躍とそ見ものであらう。

相次いで完成した

現代映畫三大作

「赤い白鳥」「淺草紅團」

最後の女性

秋季シーズンに臨んで能率を上げつゝある、帝キネ最新スタヂオでは現代劇部の三大特作「赤い白鳥」「淺草紅團」「最後の女性」が相繼いで完成九月に入るや之等の巨篇を連續的に提供その一番目が稍廣く動的の要素を以てゐるがこれも要するに海島といふ限られた風景である、何れもこれが端的に言へば箱庭式といふ一言に盡きるであらう。

然るに近代的名勝地の概念は大分變化して來てゐる。全体的概括的でそして動的の要素を多分に持つてゐなければならない樣だ、米國の黃石公園は恐らくその代表的のもので或はこの影響を受けたのかも知れぬが交通機關の發達がその大なる原因だらう國立公園の選定等には大いにこの點を考慮すべきであると思ふ。

上高地はこの點から見て充も近代的名勝地としての各種條件が具備されてゐると思ふ。

最近踏破して得たる上高地の見聞を所感を記して見やう。

大正池と燒嶽

平を發つたのは八月卅日の午後三時翌朝七時松本驛で汽車を捨て筑摩電鐵で島々まで約四寸分それより自動車で梓川の溪谷に添ふて斷崖絕壁に膽を消し乍られたので目蓮尊者は大いに走る。三時過半中の湯溫泉につくころからは自動車はきかない徒步約一里半かくて上高地に踏み入る事出來るのである。

第一に目につくのは燒岳の噴火だ、噴火といふよりは山の中腹以上が燃えつゝあるといふ方が適當だ丁度、炭礦の貯炭が自然發火しての爲に燃した狀態だ、そくなつて壯觀ふと、莫加明して時々そのの大噴火の溶岩が流し灰を降らすためにその附近の山々の木といふ木は悉々枯死して恰も白骨の林の樣にしそゝりたつてゐる。

凄い噴煙とこの滿目荒寥たる白骨の林とは一種淒慘な感を與へて此の世の能とは思はれぬ光景である地獄にある劍の山といつた樣な感じだ。

燒岳が大正三年の大噴火の際にその溶岩が梓川を堰き止めて出來たのは有名な大正池である。燒岳の噴煙に氣を奪はれて空を眺めて歩いて行く時脚下に展開されるのがこの大正池である。池の表には當時の白樺の林が白骨の林となつて水に漬かつてゐるのだ、その白骨を縫つて燒岳の噴煙が水面にクッキリと描き出されてゐるのだ、何とも云ふ怪奇な狀景であらう、而かもその水中には（イワナ）が極めて無心に游泳してゐるのも又一種の興味を呼び起す。

白樺と化粧柳

大正池を左に見て進む此から道は全く平坦になる五千尺の高地そして今迄辿りつつ險路を考へるとき全く奇蹟の感じがある池を渉ぎれば一面白樺の處女林である。

和歌
生活の環境を歌ふ
小川郷 吉岡獨歩

不景氣と云ふ言の葉が咀はしき。ものゝ一つとなりし此頃
かにかくに稻のよきこそ嬉しけり、世は不景氣に咀はるゝとも
草野牧笛君病む
三旬の暑中休暇も其半ば、枕え上げず友は病み居り
この日頃病と闘ふ友なれば、殘んの暑さとく去ねよかし
大洋の潮浴みんと語らひし、八月は過ぎ友は癒えずで

基露を行つたもの殊に戀人同志が相擁して死に至る江戸川亂步趣味の描寫などは映畫始まつて最初のものである最後の女性は香椎園子が「カフェーの女」に次ぐ主演映畫岡田三郎氏が聖火の題名で發表した當時そのヒロイン廢耶子こそ日本女性の新しきタイプとして婦人に大影響を與へた二つの階級の對立と浮薄なる男性の暴虐と戰ひなげにも新しきの人生を開拓して行く。この女性を香椎がどんなに熱演するか松本監督の老巧なるテクニックと相俟つて新秋唯一の見もの。

—（今月今日）—

▲關東大地震死者一萬人（大正一二）政府朴烈經寫事件の經緯を發表す（同一五）△瓦老井上磐侯薨去（大正四）△セダンの戰佛帝ナポレオン三世獨逸に破られ降伏す（記元前一、八七〇年）△大內義弘と日夜の謀議、六郎衛門降伏せらる、周防の豪族は腕節があり且つ忠義振つて島津、大友、菊地の事のみ斯樣なものを其儘

千葉、少貳等と共、戰國時代の英傑なり後年文事に既り武事を忽にせし爲志臣陶晴賢のために弑せらる

講談

赤鞘安兵衛

東京 桃川燕二演
村田月光齋

（三十九）

安兵衛もたお和喜の話しを、茶化し半分聞いてゐたが、此處に至つた聊か眞面目となります……

「必中憤ると雖も形に現す事が出來ぬとは……早いお話しが山中樣の祖父御、菅野六郎衛門樣のやうなものになります」……「何ッ爺いの樣なこのになると——爺が何うか致したのか、殺されでもしたのか」……「イエ、殺されたのではありません、それでは何も御存知ないのでありますか」……「一向存せん、シテシテその譯は」——「何うもた無の毒千萬なことでございます、貴方が留所御出立より一年ばかり後の事ですが、典膳の讒言により永のお暇となりました」——「ナニ永の暇……爺いは何を致した、何う云ふ無調法があつたのか」……「菅野樣には何も無調法があつたのではありませんそれは——」とお和喜は內弟子山崎己之助が黑崎金彌へ金子を用立てた事から、果し合ひが出來た顚末を悉く物語り——「手前の失六兵衛にまた存生で、其節典膳に——」「ナニ永の暇」……「ねゝ菅野樣なものを其儘」

なんだね、一寸お顏をとうかい——「あい〳〵」と和喜でも聊か安兵衛の聽り屋を持餘しの形だから、茶屋の親爺呼ぶを幸ひに立つて店の方に來る「お喜和、お前は何で斯樣な處に居る」と替金をなし、高い利息を絞る卑劣な人物、誰も彼の手に掛つた、彼れもその手で大層な金を貧られたと、有りもせぬ事を作つて殿へ言ひ上する手傳を致し夫れが爲め取調なし、永のお暇となつたのでございます、手前が夫の死を幸ひだと喜びまして若い身空で後家を立てさせるとは何で斯樣な處に居る」と思ひ、塚內の家から離縁して戻れよ、緣邊は幾らもあるとあれ程申したのに兎角云つて、今日まで後家を立てるとは表向の事情を悉く述べて夫の死を幸ひな事を付け加へます、お和喜はフト口を滑らせた……死んだ者は何うもた無の毒千萬なことでございます、貴方が留所御出立より一年ばかり後の事ですが、典膳の讒言により永のお暇となりました」——「ナニ永の暇……爺いは何を致した、何う云ふ無調法があつたのか」……「菅野樣には何も無調法があつたのではありませんそれは——」とお和喜は內弟子山崎己之助が黑崎金彌へ金子を用立てた事から、果し合ひが出來た顚末を悉く物語り——「手前の失六兵衛にまた存生で、其節典膳に——」「ナニ永の暇」……「ねゝ菅野樣なものを其儘」

宮內省御用達
ヒデタ醬油
醸造元 飯子醬油株式會社
平町田町
特約店 廣瀨支店
電話五四番

芳醇無比
白馬の雪
松本德一吟釀
平電話七五二

專賣特許
實用萬年漆器
好評噴々!!眞に是こそ萬代食器!
▼ハゲヌ漆器・コワレヌ陶器▲
◎見!!!偉大なる化學の力!
◎本品の特徵
絕對……ハゲマセン
絕對……變色イタシマセン
絕對……變形イタシマセン
絕對……熱湯ニオカサレマセン
絕對……酸類ニオカサレマセン
加之容易ニ破損イタシマセン
◇一度購ヘバ一代道具
品位ハ最上漆器ニ異ナラズ
日本化學漆器株式會社
東亞化學工業株式會社
釜屋商店製品セブトン一名萬年漆器
福島縣平町
飯櫃 井付瀨 茶碗 椀汁

亡兒昌新盆に相當り候處甚だ勝手乍ら一切の御贈與御辭退申上度何卒御了承願上候
平町三丁目 山田勇太郎

謹告
今回新盆に相當り候へ共緊縮ノ折柄供養提灯並に供養料其他一切ノ御贈與ヲ甚ダ勝手ガマ敷候へ共絕對御辭退申上候間不悪御承知被下度願上候
昭和五年八月
四倉町字新町
鈴木勝太郎
後見人 伊藤淺之助

亡妻新盆之處時節柄提灯其他御贈與乍勝手御辭退申上候
平町種蒔小路
天野忠彌

法授院新盆に相當り候へ共時節柄提灯其の他の御贈與等甚だ勝手ながら御辭退申上候間惡しからず御承引被下度願上候
平町古殿治
水野虎三郎

厄日の二百十日も 平穏無事に經過

全國的に結構な日和

小名濱測候所で觀測發表

今一日の二百十日に就て小名濱測候所の發表によれば廿九日午後六時に於ける氣壓の配置は七百六十七粍の高氣壓が千島東方海上に在り低氣壓は朝鮮南部に七百五十五粍のものが東北東に進行中にして他に颱風の出現も目下見へざれば北海道方面は右低氣壓の影響に依り曇雨勝ちなれど他は全國概ね平穏にして厄日も無事の見込とある

三名の增加を見たのみでうちも男百三十八人、女三百八名である、これをなほ細別して見ると過失死百六十九名、災害五十九名、自殺百六十八名その他四十五名で女の變死率が非常に多く殊に過失百六十九名中男五十一名女百十八名で女は割合に注意がたりない結果に依るものである、種類は溺死者の百十名を筆頭に縊死七十一名、轢死五十八名、中毒三十四名、窒息二十七名壓死三十三名、自及七名その他で自殺原因は例年の如く精神病者が最高それに次いで失戀、家庭不和、生活苦その他いろんな悲劇に依るもので前年より自殺者は約一割方それでも減じてゐる

世相を語る

檢視統計

半年で四百餘件

本縣刑事課で調査による本年度一月から六月までに於ける檢視統計を見ると四百四十一名で前年同期に比し

大削減を行つて 水道工事費落着

總額廿六萬四千五百圓 愈二日の町會に

平町上水道の擴張工事費豫算減額委員會は最初三日開催の豫定で開會したが原案に反し現今は當時に比し殆ど半減の狀態にあるため、委員會では引水管から順間手當に至るまで全部に亘つて減額の必要に迫られたので、更に委員會を二日間延期慎重調査の結果卅日午後七時漸く

原案三十三萬五千六百五十圓に對し七萬千百圓を減じて二十六萬四千五百五十圓に確定決定

午後七時閉會明後三日午後時開會の町會に附する筈

投槍

投稿歡迎

平町水道に就て

平町水道擴張工事申請後二ケ年に亘り漸く去る九日起債認可あり直に着工すべき事と町民一同期待せしも二十三日町會に於て諸物價勞力費に於て騰貴を來たし新等調査として委員十一名を出て引續き修正して翌日の町會に附議する由なり彼樣な事は全國水道界否や世界各國未だ嘗て年例を見ざれば認可取消の請を提出すれば認可取消の運命になりやも知れぬから調査委員十一名の暑中御苦勞は我々町民一同が感謝するとも修正額を本會議に提出するは前述の通り故に之れは原案通りとし注意或は警告事項として修正金額何程は原案より削減せらるべき見込なれば町理事者に於ても充分節約し得る樣に工事を急速に進むる事を町民の望む處なく現下なり町の蒸返しをなすか主務當局の不信任を意味する樣な申請を提出すれば認可取消の立派に分れ黨派の關係又は

なり如何となれば本日朝日新聞福島版記事の通り嘆き町會滿場一致を以て議決したる豫算を縮及内務大臣に於て物價勞力低落に基き更に審査修正せしめたるものに對して起債認可と國庫補金を決定したるものを久々町に於て修正を加へると云ふは甚だ以て無意味此もなく目下修正しつゝある書類を如何なるや更に認可の蒸返しをなすか主務當局の不信任を意味する樣な申請を提出すれば認可取消の立派に分れ黨派の關係又は

一、役員及代議員の宿泊日當は二割減とする事
一、國有林立林師下に關する木代の輕減に各營林署に陳情する事（原町、浪江、富岡、磯部）
一、檢査員十名の内三名を減員指導員をそれに振當る事は撤回する事を可決し午後五時閉會した

自動車で

國境を踏破

旅行青年林君 今朝本社訪問

埼玉縣北足立郡吹上村の青年林儀平治（三）君は明年敢行する見込みの世界一週自轉車旅行の足ならしとして廿二日から二十八日まで泉拘留に處せられたが三十一日から二十九日からを月五日まで齋藤警部補から散々大目玉を頂戴して引下つた

先づ構太國境迄の遠乘りを計劃し去る六月十六日郷里を出發長驅一番去月二日無事北緯五十度線に到着三日正午同所出發昨三十一日原町から當地に入り今一日朝本社を訪ひ水戸方面へ向つて出發した

荒井警長を中心に 理髪業者の評定

等級制其他を附議

中町田町理髪店宮川幸吉氏は最初まとまらなかつた宮川氏を鐵道の屋と認むるや否や

埼玉縣北足立郡吹上村の青年林儀平治（三）君は明年敢行する見込みの世界一週自轉車旅行の足ならしとして廿二日から二十八日まで泉拘留に處せられたが三十一日から二十九日からを月五日まで齋藤警部補から散々大目玉を頂戴して引下つた

永山刑事表彰

四倉警察署在勤刑事係永山英氏は去る廿三日附縣知事より金一封を添へ表彰された

四倉入營者

抽籤結果發表

四倉町昭和五年度壯丁抽籤の結果次の如し

甲種　鈴木文平、本多豐佐藤春吉、岡部金七　鈴木吉三郎、岡田良平、新妻信治（第一乙種）宮内考押田富治、佐藤保、遠藤福太郎、菊田清、長谷川豐次郎、（第二乙種）門馬享水井義久、鈴木幸太郎菅波象男、田部淺治、外山考一（尚ほ所屬は十月上旬發表の筈

追憶の涙新に……けふ震災七年忌

鎌田區民陳情

大震災七周忌。有史以來未曾有の慘禍と災厄とをもたらして、大都市「東京を」

鎌田區では附近の夏井川堤防が最近欠潰甚だしく一朝出水の場合は全町に氾濫おそれあるのでこれが改修方を平町土木監督所に陳情することゝなつた

拈華微笑

□ 二百十日に震災の七年忌、物騒な日が無事に濟んで何より結構

□ 四倉のセメント一等店にかゝるを出た役員が七人、こんな調子に生産品もハケると良いが

□ 水道工事費に大斧鉞、まさに金太郎の所持品以上となる

□ 床屋の等級制度一等店にかゝるを頭腦明晰になるそうな

□ 年來社説「祝北線五十度線踏破」壯舉成功、磐城新聞社説「登樓同慶の酌酌全部をあげて大盞遊びをなした揚句の蒸返しをなすか主務當局の不信任を意味する樣な申請を提出すれば認可取消の立派に分れ黨派の關係又は

□ また求められて「双輪に風のうなりや秋高し」自分でもわからぬ樣な處を駄句

□ 自轉車旅行の青年林君の足ならしとして廿二日から二十八日まで泉拘留に處せられたが三十一日から二十九日からを月五日まで齋藤警部補から散々大目玉を頂戴して引下つた

投槍

投稿歡迎

平町水道擴張工事申請後二ケ年に亘り漸く去る九日起債認可あり直に着工すべき事と町民一同期待せしも二十三日町會に於て諸物價勞力費に於て騰貴を來たし新等調査として委員十一名を出て引續き修正して翌日の町會に附議する由なり彼樣な事は全國水道界否や世界各國未だ嘗て年例を見ざれば認可取消の請を提出すれば認可取消の立派に分れ黨派の關係又は

減俸斷行に引續き 役員七名を整理

磐城セメント會社 當面の難局打開策

四倉町磐城セメント會社で既報の如く當面の難局打開上去月廿七日より所長以下五十六名の役員減俸を斷行したが更に同廿八日附を以つて役員七名（内川俣一名）の整理を行つた。

梨果品評會

五日から開催

石城郡農會主催第三回石城梨果荷造即賣品評會は五、六、七の三日間平署會議室で開催されるが出品三百

醉て暴れる

職工檢束さる

湯本町入山炭礦第五號電氣職工伊藤七郎（五）は三十日午後九時頃現金五圓を懷中し平町南町飲食店千代野茶ートの華麗な校舎の中に發育の恩恵にむせぶばかりで工事を急速に進むる事を町民の望む處なく現下に生産品もハケ

減俸斷行に引續き 役員七名を整理

磐城セメント會社 當面の難局打開策

四倉町磐城セメント會社で既報の如く當面の難局打開上去月廿七日より所長以下五十六名の役員減俸を斷行したが更に同廿八日附を以つて役員七名（内川俣一名）の整理を行つた。

醉て暴れる

職工檢束さる

湯本町入山炭礦第五號電氣職工伊藤七郎（五）は三十日午後九時頃現金五圓を懷中し平町南町飲食店千代野茶ートの華麗な校舎の中に發育の恩恵にむせぶばかりで工事を急速に進むる事を町民の望む處なく現下に生産品もハケ

薦整理講習

郡内各地で開催

石城養蠶組合主催層薦整理講習會は左の日定で一週間開催されるが教師は安島マサ佐藤タ高橋トキ金澤ウメノで毎間村九月五日より十一日まで神谷村十二

四倉薦相場

四倉薦市場三十、三十一の兩日の成績は最高二圓六十三錢最低一圓五十一錢平均二圓十一錢總貫二千二百三十二貫最高二圓用八錢最低一圓五十錢平均二圓總貫數二千百九十二貫累計一萬二千二百八十一貫である

勿來薦市況

去る三十日に於ける勿來薦市況は總取引貫數白薦六百七十五貫六百八十反價格千二百五十七圓三十八錢最高二圓十四錢最低一圓二十錢平均一錢八十錢小林西方の兩製系である

追憶の涙新に……けふ震災七年忌

大震災七周忌。有史以來未曾有の慘禍と災厄とをもたらして、大都市「東京を」

人命を犧牲とし、五十億の富を一瞬の間に灰燼した、この大災厄こそ、われ等に

とつて實に偉大なる天譴であり、神意の一大試驗であつた、而も、われ等はよくその天譴に答へ、試驗に堪へ眼前復興帝都の威容を現出し、又大自然の暴威に對して、人智の努力の偉大さを示すと共に人間の權威を確立したのである。

斯くて、われ等は、自然を征服せる人類歴史の一頁を飾るの光榮を有する。

けれども、災後、匆忙として過ぐる日月はやゝもすればわれ〳〵から、この天譴の記憶を奪はうとしないでもない。

この時、二本の針の合さんとして止んだ十一時五十八分を想起することはわれ等にとつて當時の感を新にすることであつて、震災回顧の意義亦深甚である。

◆センターは嫩葉より芳しく、蕾は生にして屁の匂ひ、ありとかや、去る程に千玉の時から山形屋の國寶となつてた小波が、ツイ此頃飲み過ぎか食ひ過ぎか。夢中大作となつたので炭礦が爆發した程の大驚きをした、其の頃、小歌どころか一延命湯に早く女にして帰の急いから醫血して起つたに相違ないと自分の若い時を追懷して診斷を下したもの

内務部長視察

去る廿日午前十時四倉漁港調査のため金森内務部長縣參事一行來倉殷賑なる調査を終い盡食後豐間に向つた

内務部長視察

去る廿日午前十時四倉漁港調査のため金森内務部長縣參事一行來倉殷賑なる調査を終い盡食後豐間に向つた

拈華微笑

□ 二百十日に震災の七年忌、物騒な日が無事に濟んで何より結構

□ 四倉のセメント一等店にかゝるを出た役員が七人、こんな調子に生産品もハケ

□ 水道工事費に大斧鉞、まさに金太郎の所持品以上となる

□ 床屋の等級制度一等店にかゝるを頭腦明晰になるそうな

□ 年來社説「祝北線五十度線踏破」壯舉成功、磐城新聞社説「登樓同慶の酌酌全部をあげて大盞遊びをなした揚句の蒸返しをなすか主務當局の不信任を意味する樣な申請を提出すれば認可取消の立派に分れ黨派の關係又は

□ また求められて「双輪に風のうなりや秋高し」自分でもわからぬ樣な處を駄句

□ 自轉車旅行の青年林君の足ならしとして廿二日から二十八日まで泉拘留に處せられたが三十一日から二十九日からを月五日まで齋藤警部補から散々大目玉を頂戴して引下つた

醉て暴れる

職工檢束さる

湯本町入山炭礦第五號電氣職工伊藤七郎（五）は三十日午後九時頃現金五圓を懷中し平町南町飲食店千代野茶ートの華麗な校舎の中に發育の恩恵にむせぶばかりで工事を急速に進むる事を町民の望む處なく現下に生産品もハケ

拈華微笑

□ 二百十日に震災の七年忌、物騒な日が無事に濟んで何より結構

□ 四倉のセメント一等店にかゝるを出た役員が七人、こんな調子に生産品もハケ

□ 水道工事費に大斧鉞、まさに金太郎の所持品以上となる

□ 床屋の等級制度一等店にかゝるを頭腦明晰になるそうな

□ 年來社説「祝北線五十度線踏破」壯舉成功、磐城新聞社説「登樓同慶の酌酌全部をあげて大盞遊びをなした揚句の蒸返しをなすか主務當局の不信任を意味する樣な申請を提出すれば認可取消の立派に分れ黨派の關係又は

□ また求められて「双輪に風のうなりや秋高し」自分でもわからぬ樣な處を駄句

□ 自轉車旅行の青年林君の足ならしとして廿二日から二十八日まで泉拘留に處せられたが三十一日から二十九日からを月五日まで齋藤警部補から散々大目玉を頂戴して引下つた

一の井
九月中の御勉强！
一梅（酒（料理）（藝妓）（井付））一本 二品 二本　一二圓 五十錢
二竹（酒（料理）（藝妓）（井付））三本 二品 四本　五圓
三松（酒（料理）（藝妓）（井付））五本 三品 五本　七圓
磐城平
一の井
電話一六七番

毛糸の御仕入は今！
先づ色見本と値段表
御請求下さい！
平町田町
ハシモトヤ糸店

貸切は
他の追從を許さざる
破格最低料金の
磐城タクシーへ
平驛前
磐城タクシー
電話四五四番

外科一般（入院隨意）
内臓外科專門
花柳病科
平町六丁目（遊廓際）
木村外科醫院
電話三〇九

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七番